

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表【平成27年度】

法人名	社会福祉法人 緑樹会	代表者	石井貴志	法人・事業所の特徴	当法人は、特別養護老人ホームの開設から始まり、介護保険、障がい者支援、医療と多岐にわたる施設・事業を有し、事業所内託児所も完備している。 「一人一人のために～この地で一粒の麦とならん」を法人の基本理念に、介護、障がい、医療分野、また、それぞれの職種が連携しながらサービス提供を行っている。 そのような中、当事業所は平成27年3月に一番新しく開設いたしました。 「地域で最後まで暮らそう」を事業所理念とし、要介護・要支援高齢者が在宅で暮らし続けるために、生活の質・身体機能向上、家族の身体的・精神的介護負担の軽減に向けての支援を行っています。要介護の状態になっても、今持っている能力を十分に生かし、さらに軽減に向けた自立支援に取り組んでいます。
事業所名	明山荘小規模多機能型居宅介護事業所	管理者	清水 毅		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	0人	1人	0人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> <li>○概ね全職員の出席により、自己評価に取り組んでいることは評価する。</li> <li>○できている事、できていない事が具体的にきちんと明記され好感を持った。</li> <li>○「事業所自己評価」にある改善計画は、基本的なことの見直し(ケースに対すること、事業所内に於ける情報共有)のため、達成可能なことだと思うので、実行していかなければならないことと認識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「事業所自己評価」における改善計画を確実に達成するため、定期的に職員会議で進捗状況を確認しながら改善に取り組む。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の方が事業所に訪ねてくるイベント等との抱き合わせ策から取り組んでみたらどうか。</li> <li>○事業所が身近に見える場での会議であった方がよい。場所も環境やスタッフの様子等もちろん利用者様の様子等をよく拝見することもなく、2回程度の見学では何も語れない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営推進会議の際は、委員の皆様が施設の様子を観察いただけるよう会場や時間帯を検討する。また、その際に改善点等について説明を行い、ご意見を伺う中で更なる改善につなげていく。</li> <li>○地域の方々や運営推進会議の委員の皆様が気軽に立ち寄ることができるよう、情報発信や地域交流事業等の開催、ボランティアの募集等を行うとともに、日頃からコミュニケーションを密にし、地域の行事にも積極的に参加していく。</li> <li>○事業所が居心地のよい空間に近づけるよう、職員会議等で検証、検討を行い、ご利用者様やご家族様の意見も伺いながら、可能なことから改善をすすめていく。</li> </ul>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○周知度をあげる取り組みが、組織としてわかりにくい。</li> <li>○地域の方へは、運営推進会議に地元区長が参加されているので、イベント等を地域に回覧していただいたりしている。</li> <li>○事業所スタッフ全員ではないが、保育園、地域の祭り等の行事やイベントに参加し、地域との交流に努力している。</li> <li>○介護保険制度そのものが複雑でわかりにくい。デイサービス、グループホーム、老健、特養など、事業所の区別が一般市民には難解である。小規模多機能型居宅介護サービスは新しく、地域住民には知られていないが特性を生かした取り組みをもっと情報発信してほしい。</li> <li>○運営推進会議の中に、日頃来ているボランティア代表が入ると地域の中にも事業所の様子も理解してもらえる場につながり、開かれた施設になるのではないかと思う。</li> <li>○地域の人が参加できるお祭りや行事を実施してはどうか。</li> </ul>	<p>○地域の方々や運営推進会議の委員の皆様が気軽に立ち寄ることができるよう、情報発信や地域交流事業等の開催、ボランティアの募集等を行うとともに、日頃からコミュニケーションを密にし、地域の行事にも積極的に参加していく。(再掲)</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的に地域のイベント、季節にあわせたドライブなどが行われていて外部との交流につながっている。</li> <li>○『利用者以外のご近所の心配な方への関わり』については、人によって地域の方に事業所利用について話はされていると思うが、全ての状況について私自身が理解していない。</li> <li>○『利用者本人が住んでいる地域の方』というのは、利用者が市内広域に渡っているため、利用者本人が住んでいる地域の方を全て入れるのは大変だと思う。</li> <li>○「泊り」「通い」が多くなりがちで、「訪問」は少ないような気がします。また、一人一人の利用状況、「泊り」「通い」「訪問」等の一覧表があると利用状況がみえてきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営推進会議構成員の見直しを行い、可能な限り『利用者本人が住んでいる地域の方』に参画いただけるよう依頼する。</li> <li>○地域包括支援センター等関係機関や民生委員と連携し、利用者以外のご近所の心配な方の相談等にも関わるように努める。</li> <li>○事業所の利用状況を説明する際に、「泊り」「通い」「訪問」等の一覧表を作成するなど、利用状況がみえるよう努める。</li> </ul>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>			<p>○『地域の心配の方等の事例検討』については、事業所として把握することはむずかしいと思う。</p> <p>○運営推進会議の構成員を増やし、参加者からの声や意見を聴取することを提案します。次回その結果を期待します。</p> <p>○運営推進会議で出された意見や専門職から出された指導的助言を次の会議で、どう反映したか、どう努力したか、結果はどうだったのか、変化があれば報告してほしい。</p>	<p>○運営推進会議構成員の見直しを行い、可能な限り『利用者本人が住んでいる地域の方』に参画いただけるよう依頼する。(再掲)</p> <p>○地域包括支援センター等関係機関や民生委員と連携し、利用者以外のご近所の心配な方の相談等にも関わるように努める。(再掲)</p> <p>○運営推進会議等の意見、助言等への取り組みについて、運営推進会議で随時報告する。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>			<p>○地域密着型の施設としての意識が強く、利用者に寄りそう姿勢を強く感じるため、災害時なども、きっと役割を果たしていただけたらと思っています。</p>	<p>○策定したBCP (Business Continuity Plan)【事業継続計画】を基に、事業所としての防災訓練等を定期的を実施し、検証を行いながら、地域との協力についても確認し、職員一人一人の災害等のリスクに関する意識の向上を図る。</p>